

2018年度 建国小学校 学校評価

1. めざす学校像

私立学校の自主性と民族学校としての特殊性を十分に生かし、知・徳・体の円満な発達を期する民族の矜持と国際社会に適応できる豊かな能力を持ち、将来、民族社会に貢献できる有能な人材を育成する。

2. 中期的目標

1. 在日韓国人としての自覚と矜持を涵養する。
2. 国際社会に主体的に適応できる能力を育てる。
3. 自主的な生活実践を通して社会に奉仕する人間を育成する。
4. 個性を伸ばし、創造性を育てる。

3. 本年度重点目標及び自己評価

中間的 目標	本年度重点目標	具体的取組内容	評価指標	自己評価
1. 在日韓国人としての自覚と矜持を涵養する	学年に応じ、韓国語の効果的な指導方法を研究する。	韓国の学校で使用している ICT 教材の活用 建国オリジナル教本の活用 1年時のクラス改編	韓国語では、9割近くの児童が、勉強することが楽しく、わかるようになってきたとの結果を得られた。 保護者からも語学力の向上として88%の満足度を得られた。	児童が韓国語や民族教育に関して、肯定的かつ充実感をもって学習している。 韓国語の学習体系が確立してきた。 学年が上がっても、興味、関心、意欲を持って取り組めるよう、更なる授業研究を重ねる。

2. 国際社会に主体的に適應できる能力を育てる

<p>学習支援員や放課後を活用し、基礎学力の定着及び向上をめざす。</p>	<p>学習支援ボランティアの授業への入り込みや個別指導の実施</p> <p>高学年の実力アップやフォローアップの実施</p>	<p>学力の定着・向上では、保護者の約 25%が個別支援の更なる充実を望んでいる。</p>	<p>様々な形での学習支援を充実させていく。</p>
<p>ICT や副教材を活用し、語学力の向上をめざす。</p>	<p>英語や韓国の授業におけるネイティブの教員による指導</p> <p>英語検定の受検</p>	<p>低学年 77%、高学年 72%の児童が英語を楽しく、学習していると回答。</p>	<p>学年が上がるにつれ、英語を負担に感じる児童も少なからずいる。</p> <p>受験結果をもとに目標や教材を選定し、授業研究していく。</p>
<p>学級全体の前での発表や、ペアでの意見交換する力を育てる。</p>	<p>アクティブ・ラーニングに重点を置いた授業の実施</p>	<p>低学年で 83%、高学年で 67%が意見発表をできているとし、昨年度より 20%向上した。</p>	<p>苦手意識が改善された事が大きい。</p> <p>今後も意見が尊重される環境作りを継続していく。</p>
<p>指導要領の改訂に伴い、教科内容を研究し、指導計画を作成する。</p>	<p>研修会への参加</p> <p>研究授業の実施</p>	<p>9 割以上の児童が授業はよくわかると回答。</p> <p>全体的な授業の進め方については保護者からも高評価を得ている。</p>	<p>教員の授業実践力向上のため、若年教員を中心に主要教科の研究授業を継続していく。</p>

3. 自主的な生活実践を通して社会に奉仕する人間を育成する	子どもたちの成長にそって、年間カリキュラムを作成し、体験学習を行う。	社会見学、スキーや田植え、稲刈り、湖上活動、広島への平和学習など	全学年を通じて高評価を得ている。	発達段階に応じた充実した体験学習が行われている。
	他人の痛みが分かる心を育てる。	年間を通じ学年の成長に沿った課題をたて、障がい理解教育を実施	児童、保護者ともに9割以上の高評価を得ている。 保護者との連携は、17%がより充実を望む回答。	特別授業による学習と共に担任によるいのちの授業研究も進めていく。 児童間トラブルについては、状況に合わせて更なる連携体制で臨む。
4. 個性を伸ばし、創造性を育てる	進んで努力する子、はきはき元気な子、互いに助け励まし合う子どもを育てる。	運動会、学芸発表会、児童会活動、縦割り活動、6年生の1年生世話係りなど	9割以上の児童が活動や行事に積極的に取り組み、最後まで努力していると回答。 保護者からも子どもが自己肯定感をもって学校生活を送っていると93%の高評価を得た。	縦割り活動を通じ、互いに励まし、助け合う気持ちを育むことができた。
	教員一人ひとりが子ども達の声に耳を傾ける。	全教員が児童の活動に関わる。 児童情報の共有、指導法の統一	児童・保護者ともに自主性の育成、自己肯定感、きまりのある生活において、9割以上の評価を得た。	今後も全教員で子どもの様子や変化を見守り指導にあたる。
	皆が共に、楽しい学校生活を送れるようマナー向上をはかる。	年2回以上の集団下校指導やふり返しシートの実施 生活のきまりやルールの明確化	児童・保護者ともに90%程度の高評価を得ている。	今後も児童自らが実践できるように、学校全体で取り組む。

<2018年度 小学校の重点目標>

1) (民族的なもの)

○学年に応じ、韓国語の効果的な指導方法を研究する。

2) (学習面)

○学習支援員や放課後を活用し、基礎学力の定着及び向上をめざす。

○ICTや副教材を活用し、語学力の向上をめざす。

○学級全体の前での発表や、ペアでの意見交換する力を育てる。

○指導要領の改訂に伴い、教科内容を研究し、指導計画を作成する。

3) (人権的なもの)

○子どもたちの成長にそって、年間カリキュラムを作成し、体験学習を行う。

○他人の痛みが分かる心を育てる。

4) (学校生活)

○進んで努力する子、はきはき元気な子、互いに助け励まし合う子どもを育てる。

○教員一人ひとりが子ども達の声に耳を傾ける。

○皆が共に、楽しい学校生活を送れるようマナー向上をはかる。

2018年度 低学年 学校評価アンケート結果 (67人回答)

	設 問	A	B	C	D
1	学校は、楽しい。	59 %	34 %	1 %	6 %
2	先生は、がんばったことをわかってくれる。	65 %	27 %	7 %	1 %
3	学校の授業や勉強はよくわかる。	54 %	36 %	10 %	0 %
4	勉強や運動の力がついてきた。	63 %	33 %	3 %	1 %
5	宿題は忘れずにしている。	60 %	33 %	7 %	0 %
6	すすんで本を読んでいる。	62 %	27 %	7 %	4 %
7	授業で自分の考えや意見を発表している。	44 %	39 %	16 %	1 %
8	実験や観察、体験型の授業はよくある。	55 %	21 %	21 %	3 %
9	授業でタブレット(ipad)を使っている。	33 %	25 %	33 %	9 %
10	いのちの授業や生活アンケートで、命の大切さやお互いの人権について学んでいる。	63 %	33 %	2 %	2 %
11	防災学習で、火事や地震、津波の時の避難方法などを学んでいる。	81 %	16 %	3 %	0 %
12	運動会や学芸発表会などの行事に、いっしょうけんめい取り組んでいる。	82 %	16 %	1 %	1 %
13	韓国語を楽しく学習し、わかるようになってきた。	61 %	28 %	7 %	4 %
14	英語を楽しく学習し、わかるようになってきた。	47 %	30 %	16 %	7 %
15	福祉授業で、まわりの人を理解する大切さを学んでいる。	63 %	27 %	9 %	1 %
16	友だちと仲良く協力している。	74 %	22 %	1 %	3 %
17	学校生活のきまりやルールを守っている。	66 %	34 %	0 %	0 %
18	自分の持ち物やみんなで使うものを大切に使っている。	83 %	16 %	1 %	0 %
19	あきらめないで、最後までする努力をしている。	77 %	22 %	1 %	0 %
20	民族教育(韓国の言葉や生活を学ぶこと)は、自分のためになっていると思う。	70 %	19 %	7 %	4 %

2018年度 高学年 学校評価アンケート結果 (81人回答)

	設 問	A	B	C	D
1	学校は、楽しい。	50 %	40 %	6 %	4 %
2	先生は、がんばったことをわかってくれる。	41 %	43 %	15 %	1 %
3	学校の授業や勉強はよくわかる。	48 %	47 %	4 %	1 %
4	勉強や運動の力がついてきた。	52 %	42 %	5 %	1 %
5	宿題は忘れずにしている。	60 %	30 %	10 %	0 %
6	すすんで本を読んでいる。	37 %	32 %	22 %	9 %
7	授業で自分の考えや意見を発表している。	26 %	41 %	26 %	7 %
8	実験や観察、体験型の授業はよくある。	57 %	30 %	11 %	2 %
9	授業でタブレット(ipad)を使っている。	43 %	35 %	20 %	2 %
10	いのちの授業や生活アンケートで、命の大切さやお互いの人権について学んでいる。	44 %	33 %	19 %	4 %
11	防災学習で、火事や地震、津波の時の避難方法などを学んでいる。	71 %	25 %	2 %	2 %
12	運動会や学芸発表会などの行事に、いっしょうけんめい取り組んでいる。	73 %	20 %	7 %	0 %
13	韓国語を楽しく学習し、わかるようになってきた。	60 %	30 %	6 %	4 %
14	英語を楽しく学習し、わかるようになってきた。	33 %	39 %	18 %	10 %
15	福祉授業で、まわりの人を理解する大切さを学んでいる。	51 %	44 %	5 %	0 %
16	友だちと仲良く協力している。	74 %	20 %	5 %	1 %
17	学校生活のきまりやルールを守っている。	44 %	48 %	6 %	2 %
18	自分の持ち物やみんなで使うものを大切に使っている。	64 %	35 %	1 %	0 %
19	あきらめないで、最後までする努力をしている。	51 %	38 %	6 %	5 %
20	民族教育(韓国の言葉や生活を学ぶこと)は、自分のためになっていると思う。	46 %	35 %	10 %	9 %

2018年度 保護者 学校評価アンケート結果（121人） 回答率 82%

Aーよくあてはまる Bーややあてはまる Cーあまりあてはまらない Dーまったくあてはまらない					
	設 問	A	B	C	D
1	学校は、教育方針や教育実践の情報をホームページや配信メール、配布物等で的確に伝えている。	58 %	39 %	2 %	1 %
2	授業参観や学校行事は、適切な頻度で行われ、子どもや学校の様子を知る機会として機能している。	62 %	36 %	2 %	0 %
3	学校行事や体験学習は、子どもの自主性の育成に役立っている。	50 %	46 %	4 %	0 %
4	学校は、ICTを活用するなどし、楽しくわかりやすい授業を行っている。	40 %	49 %	8 %	3 %
5	学校は、宿題や補習を通じて、学習内容の定着を図っている。	60 %	29 %	11 %	0 %
6	学校は、学習支援員や放課後を活用し、学力の定着・向上に取り組んでいる。	37 %	38 %	21 %	4 %
7	子どもの学力および語学力は向上している。	38 %	50 %	10 %	2 %
8	学校は、災害訓練の実施など安全指導・安全管理を行っている。	51 %	46 %	3 %	0 %
9	学校は、学校生活のきまりや公共のマナーに関し、適切な指導をしている。	56 %	36 %	7 %	1 %
10	子どもは、自己肯定感をもち、楽しく学校生活を送っている。	58 %	35 %	5 %	2 %
11	学校は、子どもの人権を尊重し、いじめ問題等について、保護者と連携をとりながら対応している。	41 %	42 %	13 %	4 %
12	学校は、支援を必要とする人たちの立場を学び、考える授業を実践している。	49 %	42 %	8 %	1 %
13	学校は、民族的な学習や行事を通して、民族教育の充実に力を入れている。	71 %	26 %	2 %	1 %
14	学校は、子どもや保護者からの相談に適切に応じている。	43 %	47 %	9 %	1 %
15	保護者として、学校行事やクラス懇談、PTA 活動等に積極的に参加・協力している。	38 %	41 %	17 %	4 %

2018年度の学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートは、昨年度の関係者評価の指摘に基づいて、児童がより評価しやすいように20項目（保護者アンケートも15項目）作成しました。実施したアンケート結果をもとに、年度当初に出しました重点目標に照らし合わせ、教員の自己評価を行いました。以下の点を教員の共通認識とし、今後改善に努力していきたいと考えます。

○民族的なもの（項目 児童13, 20 保護者13）・英語（項目 児童14）

民族教育に関して、児童は低学年で9割近く、高学年でも8割以上の子ども達が、肯定的に自分のためになっていると感じ、韓国語も充実感を持って楽しく学習していると言えます。保護者からも、学校の特色・取り組みを非常に高く評価していただきました。（英語に関しても、8割近くの児童が満足感を示しています。）これからも、学年が上がっても語学学習に興味・関心・意欲を持って取り組めるよう、授業研究に創意工夫を重ねていきたいと考えます。

○学習面（項目 児童3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 保護者4, 5, 6, 7）

9割以上の児童が授業は分かりやすいと感じ、宿題などの家庭学習も身につけているようです。授業の中での意見発表をできていると感じている児童は（昨年度よりは約20%アップしているものの）、まだ7割ほどです。児童一人ひとりが「発信する力」を身につけるため、授業の中で意見交流の機会をより一層持てるよう計画していきたいと考えます。タブレットの使用に関する低学年と高学年での違いは指導上あえて低学年での使用頻度を抑えているため妥当な評価と言えます。保護者から語学力の向上には9割近くの評価を得ているものの学力定着・向上については4人に一人が、補習などのフォローアップが不十分だと評価しています。さらに個別支援への工夫を継続していくことが必要です。

○人権的なもの（項目 児童10, 15 保護者11, 12）

年間通して行う人権教育が定着し、各学年で充実した授業が行われている結果、児童は高く評価しています。いのちの授業に関して、外部講師による特別授業は、低学年と4年生のみであるが、担任が行ういのちの授業研究も充実が望まれます。また、児童間のトラブルやいじめ問題について、状況に合わせてより一層の保護者との連携を進めていきます。

○学校生活（項目 児童1, 2, 11, 12, 16, 17, 18, 19 保護者3, 8, 9, 10）

9割の児童が、学校は楽しく、友達と仲良くきまりを守って充実した学校生活が送れていると読み取れます。今後も、児童が安心して過ごし、自分の能力を自由に発揮し、ますます高められるような学校であり続けられるよう、教員が力を合わせて、より良い学校を作るために取り組んでいきたいと考えます。

保護者のみなさまのますますのご理解・ご協力よろしく申し上げます。

2018年度 建国小学校 学校関係者評価

建国小学校 学校関係者評価委員会
委員長 西川隆恵

日時 2019年3月2日(土) 13時~14時半 本校 図工室

参加者 6名

教頭 黄裕錫先生 教務主任 李福子先生 PTA会長 西川隆恵(小5)
副会長 矢野美紗子(小3) 保護者 金志英(小4)、李奈奈(小3)

教務主任の李福子先生に「学校評価アンケート 自己評価」を項目ごとに、説明して頂きながら、アンケート結果と照らし合わせ「学校関係者評価」を行いました。

1. 民族的なもの

クゴの教育に関して、低学年で9割、高学年で8割以上が、韓国語が自分の為になっているという意識を持ち、また楽しく取り組んでいます。保護者からも(97%が)民族教育の充実感が感じられると高評価を得ています。全体的に高評価である一方で、1割程度の低評価の子どもたちへの対応、低学年に比べ高学年になるにつれ、「民族教育が自分の為になっている」という意識が低くなっている点、また低学年では1割近く、高学年では2割近くの意識の低い児童がいる点が課題と言えます。

2. 学習面

低学年・高学年とも、学校の授業が分かりやすく宿題などにも積極的に取り組めており、勉強だけでなく運動面においても9割以上の高評価を得ています。保護者も9割弱が高評価を示しています。自ら読書する点において、低学年では9割弱が高評価であるのに対し、高学年では7割弱へと評価が下がっています。低学年では図書の時間が確保されており、高学年になると他授業が増え、図書の時間確保が難しい点が原因と考えられます。

「授業中に自分の考えや意見を発表出来る」という点において、去年よりかなりの改善(20%up)が見られましたが、高学年では依然7割弱の満足度であり、高学年で「発信する力」を身につけるため、授業中の意見交換の機会を一層持てるよう、計画していくと学校側の説明がありました。

「授業でタブレットを使う」という点において、低学年は使用頻度を抑えている為、妥当な評価と言えます。

英語学習について、クゴに比べて評価は低いが、7-8割の評価を得ています。一方、高学年においては3割弱が英語に難しさを感じています。今年から6年生は、英語検定5級(中学1年修了程度)を受験し、見事全員合格しました。目に見えた「英検5級合格」を目指す為、高学年の評価が下がっているようにも感じますが、「5級を得て卒業」と満足も得ていると言う保護者の声も聞きます。学年が上がっても語学学習に興味・関心・意欲を持って取り組めるよう、授業研究に創意工夫を重ねるとい学校の方針が話されました。

保護者からのアンケートには、語学力の向上において、9割近くの評価を得ている反面、「学力定着・向上」の点について25%が、補習などのフォローアップが必要と回答しています。年々、再テストや補習などの取り組みが充実してきている中、今後もさらに個別支援への工夫を継続して頂きたいです。

3. 人権的なもの

昨年度から、年間を通して充実した人権教育が行われている結果、児童は高評価となっています。外部教師による特別授業は4年生のみであり、担任の先生が行う、いのちの授業研究も継続願っています。保護者の「人権やいじめ問題について保護者と学校が連携をとっている」について17%が低評価となっています。より一層、学校と保護者との連携について思案して頂きたいです。

4. 学校生活

学校生活の面が、一番の高評価であり、9割以上の低学年・高学年が、学校は楽しく、友達と仲良く、きまりを守り充実した学校生活を送れていると評価しています。9割程度が、「先生に頑張った事を理解してもらえている」と感じており、それが「あきらめないで最後まで努力する」という点に繋がっているように思います。

保護者においても、「子どもの自主性の育成」「きまりマナーの教育」「自己肯定感を持ち楽しく学校生活を送っている」に対して、9割5分の保護者が満足しており、素晴らしい結果だと思えます。

5. 総括

去年に引き続き、今年はより一層、全体的にかなりの高評価となりました。

去年に比べ、アンケートの設問数が増え（児童 10 問→20 問 保護者 10 問→15 問）より状況が具体的に把握できるようになったと思います。

学校生活の土台となる生活部分、人間教育の部分が高評価となっており、保護者としては先生方の努力に感謝を感じる結果となりました。

これからの課題は、低評価となっている、少数の児童たちのフォローや対策ではないでしょうか。研修や授業研究に積極的に参加して頂き、気品・学力・質の高い民族学校となる事を期待します。